

2014年11月17日

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）

ファイナンシャルプランナー（FP）が 「アフラックペアレンツハウス大阪」を訪問

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：外池 徹）は、11月14日（金）、当社の社会貢献活動の柱の一つである「アフラックペアレンツハウス」の取り組みについて知っていただくことを目的に、「アフラックペアレンツハウス大阪」（大阪府大阪市）に、FP-RECO（エフピーリサーチアンドコンテンツ株式会社）と提携しているファイナンシャルプランナー13名を迎え、見学会を実施しました。

アフラックペアレンツハウスは、小児がんなどの難病のために、大都市圏の専門病院で闘病する子どもたちとそのご家族の経済的・精神的負担を軽減することを目的とした総合支援センターで、運営費などアフラックが全面的なサポートを行っています。ご家族が1泊1,000円（患児は無料）で、患児の治療中は期間の制限なく滞在できる施設です。これまで海外からも含め、利用者は延べ10万人を超えています。



▲プレイルームの様子（浅草橋）



▲アフラックペアレンツハウスの外観（大阪）

当施設は2014年11月現在、東京に2棟（江東区亀戸・台東区浅草橋）、大阪に1棟（大阪府中央区）が稼動しており、年間の運営費は1億円（3棟合計）を超えています。運営費は当社、当社社員及びアソシエイツ（販売代理店）等の寄付により全額がまかなわれています。なお、運営は「公益財団法人がんの子どもを守る会」が行っています。

今般、当施設を見学したファイナンシャルプランナーからは、「契約者以外でもこの施設を使えると聞いて驚いた」「子どものがんを初めて身近に感じた。テレフォンカードの寄付など、今後、少しでも力になりたい」などの感想をいただきました。

当社では、多くの方々の“「生きる」を創る。”保険会社として、社会における課題の解決と持続的な成長をめざし、社会と共有できる価値の創造（CSV*経営）に努めていきます。

*Creating Shared Value